

筑紫丘自治協議会だより

令和4年11月10日発行

リサイクルポスター展に最多の作品応募



ゴミ減量やリサイクルの必要性を、子どもたちに理解と関心を深めてもらうため、平成20年にスタートした校区リサイクル推進部恒例事業「リサイクルポスター展」が、今年度も筑紫丘小学校の協力で、4年生以上の子どもたちに作品の応募を呼び掛けたところ、ほぼ全員が夏休み中に制作された想いのこもった作品が、これまでの最高となる292点も寄せられ、学校の全面的な協力と指導に子どもたちの感心の高さが示され、関係者から高い評価で大きな成果となりました。

応募作品は、筑紫丘公民館で洋画教室「紅の会」を指導されている五郎丸千恵子講師によって審査され、金賞・銀賞・銅賞の各賞に30点の作品が選ばれました。受賞者の表彰は、コロナ感染症のため金賞受賞者は校長先生より、銀賞以下は受賞者の各クラスで担任の先生から賞状と記念品が贈られました。

入賞作品は筑紫丘公民館ロビーに9月8日より、南区役所玄関入口「まちかど文化広場」に10月4日より順次展示された後、受賞者作品を在住の各町内掲示板に展示して、地域の皆さんに披露されました。



南区役所玄関入口「まちかど文化広場」

アビーサッカースクール開催!

秋の気配を感じ始めた9月23日(金)、プロサッカーチームアビスパ福岡のサッカースクールが、筑紫丘小学校校庭で公民館と子ども会育成連合会の共催で、天候に恵まれて開催されました。

アビスパ福岡サッカースクールから吉浦誠晋氏とアミル氏が、コーチとして子どもたち17名を指導され、まずは個人練習としてボールをキャッチしたり、蹴ったりしてボールに慣れることから始まり、2人1組になってシュートやドリブルの練習、その後2チームに分かれてコーチの指示に従いながらの試合形式の練習と続き、最初の頃は少し緊張も見られた子どもたちも、2人のコーチの冗談を交えた指導で仲間と打ち解けたりして、すぐに楽し気な声が聞けるようになりました。

全ての練習が終わった後、吉浦コーチから子どもたちに「勝っても負けても相手がいるから試合が出来る、お互いに感謝の気持ちを忘れないようにしましょう」と、スポーツをする上での心構えを教わり終了しました。最後は記念品としてコーチたちからアビスパ福岡のロゴ入りマグネット、子ども会育成連合会からマスクが子どもたちへ贈られ、アビスパ福岡もソフトバンクホークスに負けなくらい、応援して下さいと声をかけられました。



史跡探訪2022 熊本バスハイク



正式名称は水前寺成趣園といひます

10月12日(水)文化部主催で3年ぶりに史跡探訪に行きました。目的地は熊本城と水前寺公園です。スタッフ含めて29名の参加者があり、現地ボランティアのガイドがとてもわかりやすく、より理解が深まりました。

2016年の地震で大きな被害を受けた熊本城は段階的に改修が進み、天守閣などはすでに復旧し内部公開されています。しかし、石垣などは被災当時のままの部分もあり、完全復旧まではまだまだのようです。場内は写真や展示物が数多くあり、歴史の深さを感じさせます。天守閣に上がると熊本市内が一望でき、素敵な景色が広がっていました。ビュッフェスタイルの昼食をとった後、20分程で水前寺公園に到着です。コイがゆったりと泳ぐ大きな池と、手入れが行き届いた緑が調和した回遊式庭園です。のんびりと散策すると、参加者にとって日頃の疲れが吹き飛び、心が癒されるひとときとなりました。

今回、かなりの距離を歩きましたが、参加された皆さんは大変お元気で、旅の楽しさを満喫され3年ぶりの史跡探訪が無事終了しました。



復興後の熊本城

